

アイリス Letter

保護者の皆様へ

2022年9月30日発行
第5号
広島女学院中学高等学校



聖書のことば

わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。

コリントの信徒への手紙一 3章9節

2学期が始まり、忙しい日々が続いています。気候も落ち着かず、疲れを覚えておられる人も少なくないと思います。一日の終わりには、平安が与えられますよう祈ります。

学校は、3年ぶりに本来の2学期が戻ってきました。9月9日には、中2チャレンジキャンプが行われました。それぞれのグループのペースで、助け合いながら恐羅漢登山を成し遂げました。中2の生徒、そして高1・2のリーダーの生徒の明るい笑顔がとても素敵でした。9月14日には、全学年で上野学園ホールに行き、劇団四季 ミュージカル「リトルマーメイド」の鑑賞をしました。帰りの道を不安そうに歩いている生徒も、「楽しかった。」と生き生きと話す顔が輝いていました。

10月1日は、136周年の創立記念日です。これまでの長い年月の広島女学院の歩みに携わってくださった方々に、感謝いたします。そして、136年目の今をつくっている生徒のみなさん、それを応援してくださる保護者の皆さま、ありがとうございます。

10月の学年行事は、楽しみですね。高2沖繩修学旅行、中3長崎研修旅行、その他の学年の遠足。いっぱい思い出をつくりましょう。

11月3日には、文化祭が開催されます。中間テストや、クラブ活動の試合や発表など、目の回るような日が続きます。それこそが、二度とない豊かな経験のできる時です。一人が何役もこなさなければなりません。しかし、一人ではできないことも、みんなとならばやれるのです。そんな、精いっぱいチャレンジの秋としましょう。

保護者の皆さま、3年ぶりの忙しい秋となります。ご家庭での健康管理など、どうぞよろしくお願いいたします。

神様は、疲れて重荷を負っている私たちを、神の畑、神の建物と言ってくださり、共にいてくださいます。そこにいっぱいの元気をいただきましょう。

(校長)



8・6 平和祈念式・平和記念礼拝（被爆 77 周年）

8月6日午前10時より、ご遺族・関係者の方をお迎えして平和祈念式が行われました。高校茶道部の献茶、平和を祈る週に中学生が折った千羽鶴の献納、追悼の言葉を三谷院長先生・竹内路子同窓会長、女学院大学学生の中田愛実さんが述べ、最後に中学 YWCA 部のハンドベル演奏を聴きながら献花をしました。関西学院大学の学生などが参列しました。



午後1時30分からは、中1、中3、高2の生徒が出席し、8・6 平和記念礼拝を捧げました。講師の土屋時子さんは、広島女学院中学高等学校・大学を卒業後、大学の図書館司書として働かれました。戦後生まれで被爆体験はありませんが、13歳の時、『アンネの日記』を読んで、「自分は戦争を許す人間にはならない」と心に決め、大学時代に出会った演劇や詩を通して、平和と命の大切さを伝える活動してこられました。在職中、広島女学院原爆被災誌『夏雲』をもとにした朗読劇を制作し、学生と共に上演。その中から『名前』という詩を最後に朗読して下さいました。

広島女学院原爆慰霊碑に刻まれた351名の名前の向こうに、両親によって名付けられ、愛されてその名を呼ばれて生きていたかけがえのない一人一人の命と、失われた命への消えない悲しみがあることが伝わり、胸に迫りました。（宗教教育委員会）

Peace Forum 2022

8月5日に Peace Forum が開催されました。Peace Forum とは、女学院で毎年開催されている、平和について考える交流会です。今年度のテーマは「平和を世界に広める方法」として、対面とオンラインのハイブリッド式で、全国各地の高校、さらには韓国とインドの高校とポスターセッションをしました。実際にホームページやスタンプラリー、カードゲームを制作するという試みを通じて、親しみやすく平和教育に触れてもらうにはどうしたらよいか新たな視点を取り入れることができました。他校からは、SNS を用いて平和に関する議論を行う、様々な授業に平和教育を絡ませるといった面白いアイデアが挙がりました。この貴重な経験から学んだことを活かし、これからも自分から発信していくことを意識して活動していきたいです。（高2 Global Issues 選択生）

English Trip

7月25日(月)と26日(火)に English Trip を実施いたしました。初めての企画ですので、20名程度の応募があれば、と控えめに考えていましたが、100名以上の申し込みがあり、嬉しい驚きでした。使用場所の都合上、今年度は中1が20名、中2が32名の参加となりました。

アイスブレイク活動として、オーストラリアに関するクイズから始まり、その後は学年の垣根を越えて4人のグループを作り、協働しながら10のアクティビティに取り組みました。

Pack Your Bag では「海に行くのに何を持っていく？」とお互いに聞きながら、パッキングをしました。Shopping for a Barbecue ではオーストラリアドルを使って買い物をしました。Put the Joey in the Pouch では、目隠しをした人に英語で指示を出しながら、カンガルーお母さんのポケットに赤ちゃんカンガルーを入れました。Uluru では英語の文章を読んで、英語の質問に答え、エアーズロックの理解を深めました。

海外研修になかなか行けない昨今、「オーストラリアに行ったら」と想像しながら、知って

いる単語を頑張って使い、楽しく英語の運用能力を高める学びの場となりました。

来年は更にバージョンアップした English Trip を企画します。楽しみにしててください！



(英語科)

Join! 体験教室

ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、小学生のみなさんに女学院へ遊びに来てもらう機会が少なくなっていました。そこで、今年の夏休みは小学校3～6年生のみなさんを対象に体験教室を開催しました。7月25日から午前と午後の1日2回授業体験やクラブ体験を実施しました。1週間で約150組の親子のみなさんが参加してくださいました。



YWCA部と一緒にハンドベル演奏🔔

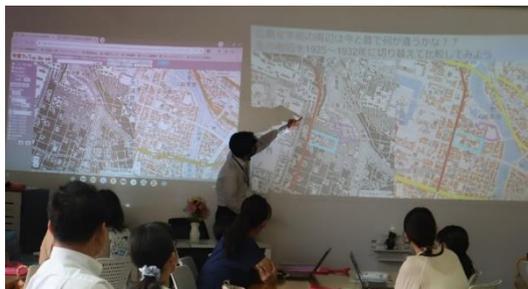
プログラムでは女学院で授業を担当している教科の先生と一緒に、実際に中学校で行っているような国語や算数、理科や社会の授業を体験したり、放送部や美術部、演劇部のクラブ活動を生徒と一緒に体験してもらいました。

受付ではすごく緊張されている様子が伺えましたが、学校紹介やプログラムを体験されるとだんだんと女学院の雰囲気慣れて、楽しそうに活動されていました。また、今回も女学院アンバサダーの中高生が校内を案内し、学校生活の様子を説明してくれました。小学生のみなさんには、在校生の話聞くことでより女学院を身近に感じてもらえたのではないかと思います。感染対策のため少人数制での開催となりましたが、少人数だからこそ、より深く女学院の魅力を知ってもらうことができたのではないかと感じています。

まだしばらくは感染対策が欠かせませんが、これまでのようにもっと小学生のみなさんに女学院に遊びに来てもらい、実際に顔を合わせて女学院の魅力を伝えられる機会が増えたらと願っています。



DNAを取り出そう！(理科)



地図で昔の広島を知る(社会)

(広報部)

中2チャレンジキャンプ

今年度も芸北の豊かな自然の中でチャレンジキャンプを行いました。昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、テント泊や飯盒炊爨は実施せず、恐羅漢山登山を行いました。今年は登山前の準備期間に、昨年よりも中2と高校生リーダーが共に活動する時間を多くとり、絆を深めてから本番を迎えました。

夏休み明けすぐの登山は体力的な面でも不安を感じている中2生徒もいたようですが、高校生リーダーに支えられ無事に恐羅漢登山を終えることができました。

直前の台風の影響が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ、秋晴れのとても気持ちの良い気候でした。とはいえ登山はとても大変だったようです。急なグレンデを励まし合いながら登ったり、滑りやすい下りの山道を生徒同士で手を取り合いながら支え合って歩く姿は、とてもたくましく感じました。

下山した中2の表情には疲れもありましたが、達成感であふれていました。そして中2をリードしながら近くで見守ってきた高校生リーダーも安堵感と充実感に包まれている様子でした。今年のリーダーを務めた高1生徒は、自分たちが中2の時に、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、チャレンジキャンプ自体が実施できなかった学年だったので、準備段階から不安も多かったことと思いますが、高2生徒がしっかりとサポートしてくれました。

活動を終えて帰校しゲーンホールで解散式を行った際には高校生リーダーと楽しそうに一日を振り返って話をする中2の姿が見られ名残惜しそうな様子でした。

運動は得意ではないので、最初は乗り気ではなかったけど顔合わせをしていくうちに楽しみな気持ちに変わっていきました。登山の時も少し不安な気持ちはありましたが、リーダーの優しい声かけのおかげで楽しく無事に登りきることができてとても楽しかったです。（生徒の感想より）

生徒の感想からは、出発前は不安があったけれどグループで励まし合いながら活動できたことで仲間との絆が深まった嬉しさや、日常では味わえない自然や山頂での景色に感動したこと、そして高校生リーダーへの感謝など、一日の活動ではありましたがたくさんの発見と学びがあった様子でした。それらを糧に、これからの学校生活をさらに充実したものになるよう過ごしてもらいたいと願っています。（チャレンジキャンプ委員会）



鑑賞行事

9月14日(水)に、劇団四季「リトルマーメイド」鑑賞行事がありました。2015年の劇団四季「美女と野獣」鑑賞以来、7年ぶりです。

生徒たちはこの日を心待ちにして迎え、当日は午前の短縮授業を終えて、上野学園ホールに移動し、全校生徒・保護者・教職員の貸切で演劇を鑑賞しました。キャストの皆さんの素晴らしい歌声と魅力的な演技に引き込まれ、素敵な時間を過ごすことができました。

なお、記念品として当日のキャスト全員のサイン入り大型ポスターを頂きましたので、中学校舎1階に展示しております。是非ご覧頂き、観劇のひとつを思い出してみてください。

(中学教頭)

保健室だより（5）

10月10日は目の愛護デーです。目を大切にするために、勉強や読書をするときは明るい場所で、正しい姿勢で行うことを意識しましょう。パソコンやスマホをただ見ていると目が疲れる原因になってしまいます。長時間見続けず、家族で時間を決めながら付き合っていくのはいかがでしょうか。良質な睡眠を得るためにも、寝る2時間前はスマホから離れ、別の楽しみを見つかることができるといいですね。また、目が疲れたなど感じた時は蒸しタオルで目を温めたり、窓の外の景色をゆっくり眺めてみましょう。

10月1日からは、制服も夏服から冬服に変わります。朝と昼では気温差が大きく体調を崩しやすくなります。カーディガンやジャケットを上手に組み合わせ、各自で温度調節ができるように工夫をしましょう。また、10月は修学旅行や研修旅行、遠足、中間テストといった様々な行事があります。「質の良い睡眠、適度な運動、栄養バランスの整った食事」で、元気に過ごしましょう。
(保健室)



心の健康（5）

夏の暑さからくる疲れが尾を引いて、9月には「やる気が出ん」という訴えをよく聞きました。その9月も去って今は10月。実りの秋です。

前回に引き続いてストレス解消のヒントを頭文字順にお知らせします。今回はRです。

R－relation ・人間関係をもとう

ストレスは多くの場合、人間関係によって生じ、人間関係によって解消していきます。今の社会はセルフサービス化、機械化が進んでいて、人間関係を持たなくても生活できる場面が多くなっています。しかし実際は人との交流を求めて、スマートフォンでラインやメールが飛び交っています。人との関係を持たなくては生きて行けません。

言葉にすること、おしゃべりすることによってストレスいっぱいの気持ちが落ち着き、考えが整理され、心は満たされていきます。言葉で表現して人間関係を作っていくことは、これからの新しい環境や変化の多い生活から起きるストレスを解消していく1つの方法です。まずは家族で優しい気持ちで会話することを心がけてみましょう。

(カウンセラー)

教職員の動向

○英語科の中山先生のご尊父様が7月31日にご逝去されました。ご家族の上に神様の慰めがございましたようお祈りいたします。

生徒の活躍

◇中学合唱部

第61回広島県合唱コンクール(8月7日) 金賞 中国大会へ進出

◇中高吹奏楽部

第63回広島県吹奏楽コンクール

高校A部門 銅賞

中学A部門 銀賞

◇中高マンドリン部

令和4年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール

優秀賞・朝日新聞社賞（第2位）

◇中学新体操部

中国中学校新体操選手権大会 団体5位

◇高校新体操部

全国高等学校新体操選手権大会（8月14日） 団体40位

広島地区秋季新体操大会（8月20日）

個人2部総合 1位 2-A S. N

2位 2-D M. M

◇高校水泳部

広島地区秋季水泳競技大会（8月27日・8月28日）

女子総合 7位

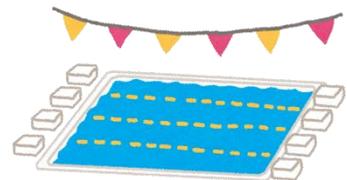
個人種目 2-B N. K 100m背泳ぎ 7位

200m背泳ぎ 7位

2-B T. K 100m平泳ぎ 7位

200m平泳ぎ 7位

2-E K. K 200m自由形 8位



リレー種目（4×100フリーリレー）6位

2-B N. K、2-A T. K、2-E K. K、2-B T. K

リレー種目（4×100メドレーリレー）5位

2-B N. K、2-B T. K、2-E K. K、2-A T. K

上記種目で県大会への出場権を、さらに

2-A T. Kは100m自由形と200m自由形で、2-E K. Kは100m自由形で、

1-D N. Hは100m自由形で、それぞれ県大会への出場権を獲得しました。

◇2-1 M. M

・第55回 カワイピアノコンクール 全国大会 銀賞

<https://competition.kawai.jp/>

・第2回 イブラ・グラント・アワード ジャパンコンクール ピアノの部 奨励賞

<https://ibra-award.com/examination2nd>

◇2-A O. M

・2022年高校生韓国語スピーチ大会 金賞（第2位相当）（参加人数は26人）

◇3-E H. J ・第46回ピティナ・ピアノコンペティション全国大会 G級 入選

・中国ユース音楽コンクール 高校生の部 最優秀賞



今月の聖句

祈りが終わると、一同の集まっていた場所が揺れ動き、皆、聖霊に満たされて、大胆に神の言葉を語りだした。
(使徒言行録4章31節)

「我らは神と共に働く者なり」とは、広島女学院の学院聖句であり、女学院を表すアイデンティティとなるものです。この学院聖句は、女学院を表すシンボルだけに留まらず、「まなぶ・みとめる・つながる」ことの「行い」によって、今現在も受け継がれています。本校の教育理念でもある「まなぶ・みとめる・つながる」とは、日々行われる礼拝、授業・クラブ活動、そして様々な学校行事などの「行い」の実りであります。こうした女学院の「行い」は生徒を中心として受け継がれていまして、その「行い」の歴史の根底に欠かせないものは、時代を超越した「祈り」でした。女学院は創立の喜びの時、戦時下の悲しみの時、そして、夢と希望・感謝と恵みを夢見る今もなお、多くの方々の祈りによって生かされているように窥えます。なぜならば、今を精一杯生きている生徒一人ひとりが、女学院における「祈り」であるからです。

10月1日は、広島女学院の創立記念日です。今年で創立137年目を迎えます。歴史の主体は、その時代を生きていた方々です。その方々が歴史を語るのです。女学院の歴史も同様で、女学院に連なる一人ひとりが女学院の祈りであり、時代を超えた祈りたちが女学院の歴史を語り続けているとも言えます。このような女学院の歴史に伴う祈りたちは、その向こう側においても「祈りが終わると... 聖霊に満たされ、神の言葉を語りだす」、言い換えると「神と共に生きる」、すなわち、「我らは神と共に働く者（神の同労者）」として生かされることを聖書は語りかけています。

今日も「広島市上幟町11-32」に漂う絶えない祈りとは、女学院に連なる一人ひとりやそのご家族の祈りが、または、卒業生や教職員の祈りが女学院の祈りとなり、そのような祈りによって結ばれた喜びと感謝の基、**我らは神と共に働く者**として女学院の新たな歴史を共に歩みたい想いです。

本朝も、祈りによって女学院の一日が始まります。

(聖書科K)

10月の行事予定

1	土	創立記念日 生徒休日 冬服更衣 保護者対象入試説明会 秋のオープンスクール
2	日	
3	月	
4	火	高2修学旅行 中3 中学総合(午前) 午後授業 7限 高1PTS(選択科目)
5	水	中3研修旅行(2・3・4組) 中3自宅学習日 [NC]
6	木	中1バイブルデーキャンプ(4限～6限) 中3研修旅行(1・5組)
7	金	中1・2、高1・3遠足
8	土	高3駿台ベネッセ記述模試
9	日	
10	月	スポーツの日 私学フェスタ広島
11	火	7限 高2PTS(選択科目)
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	保護者対象入試説明会 秋のオープンスクール (L・総)
16	日	
17	月	
18	火	中間テスト(高2・3) 金曜授業
19	水	(全学年) 1限8:55～15分休憩
20	木	1限8:55～15分休憩
21	金	1限8:55～15分休憩
22	土	(L・総)
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	[NC]
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	中間テスト素点確認

NC・・・ノークラブデー

※行事予定は変更になることがあります

